

- ▶ 瀬戸内町では、林業就業者の高齢化が著しく、森林整備等の作業負担が大きい状況になっている。
- ▶ そこで、ICT技術を活用した森林整備と題して、本税を活用し、林業就業者を対象に研修等を実施し、林業就業者の負担を軽減することにより、新規就労者の定着も図っていく方針。
- ▶ 令和元年度においては、以下の取組により、新たに288.87haの森林経営計画面積の確保につながった。
  - ・ 町内林業就業者を対象に、ICT（ドローン等先端技術）等研修を実施。意見交換を行った。

## □ 事業内容

### 1 ICT（ドローン等先端技術）等研修の実施

- ・ 町内の林業就業者に参加を呼びかけ、ドローンを活用した森林の現状把握や情報収集を行うための研修を実施。

【事業費】190千円（全額譲与税）

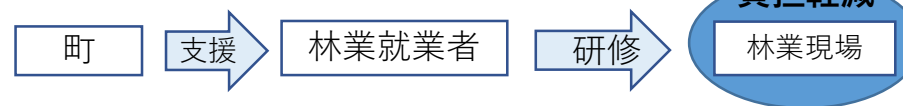
【実績】森林経営計画認定面積 288.87ha



（事業1：ICT（ドローン等先端技術）等研修の様子）

## □ 事業スキーム

- 1 ICT（ドローン等先端技術）等研修の実施



## □ 工夫・留意した点

- ・ 1の事業は、意見交換会を契機に、森林整備を実施する際対象森林の把握と情報収集に最も労力が掛かるという点から、ドローンを活用した森林調査を行い従事者の負担を軽減することで、森林整備面積の増加や担い手育成につなげていく新しい取組みを行った。

## □ 基礎データ

①令和元年度譲与額	1,916千円
②私有林人工林面積（※1）	218.43ha
③林野率（※2）	85.8%
④人口（※3）	9050人
⑤林業就業者数（※4）	27人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より